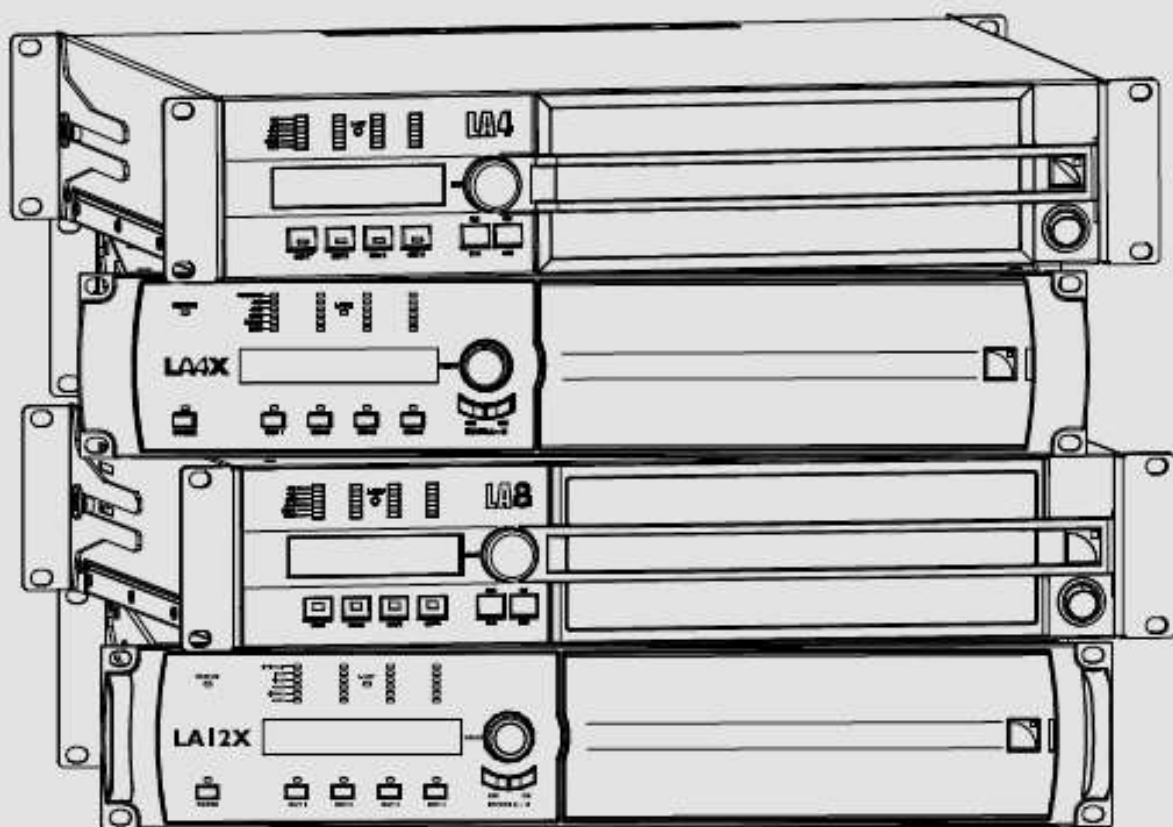


プリセットライブラリー

プリセットガイド（日本語）



Document reference: Preset libraries preset guide (EN) version 8.1

Distribution date: October 3, 2016

© 2016 L-Acoustics. All rights reserved.

No part of this publication may be reproduced or transmitted in any form or by any means without the express written consent of the publisher.

目次

はじめに	5
プリセット デザイン.....	6
オンボード プリセットライブラリー	7
LA4 プリセットライブラリー	7
LA4X プリセットライブラリー	11
LA8 プリセットライブラリー	14
LA12X プリセットライブラリー	20
フラットプリセット	23
可変曲率 WST システム.....	24
K1	24
K2	26
Kudo	27
KARA	28
KIVA SB15m	29
KIVA KILO	31
V-DOSC	33
dV-DOSC	34
定曲率 WST システム.....	36
ARCS II	36
ARCS WIDE / ARCS FOCUS	37
ARCS	38
同軸スピーカーエンクロージャー.....	39
X15 HiQ.....	39
X12.....	41
X8	43
5XT.....	44
8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP	45
12XTA、115XT HiQ、MTD115bA、115XT	46
サブウーハーエンクロージャー.....	47
プリアライメントディレイ値	49
可変曲率 WST システム	50
定曲率 WST システム.....	57
同軸スピーカーエンクロージャー.....	59

アンブリファイドコントローラーごとのエンクロージャドライブ能力	63
LA4 アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	63
LA4X アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	64
LA8 アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	65
LA12X アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数.....	67

始めに

L-acoustics アンブリファイドコントローラーにはオンボードファームウェアとプリセットライブラリーが提供されます。

オンボードライブラリー上のプリセットは、アンブリファイドコントローラーのフロントパネル、または LA NETWORK MANAGER からロードします。(LA NETWORK MANAGER は L-acoustics アンブリファイドコントローラーをネットワークからリモートコントロール・モニタリング可能な専用マネージメントツール・ソフトウェアアプリケーションです。)

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデートは LA NETWORK MANAGER が必須です。最新のプリセットライブラリーはファームウェアとともに自動でインストールされます。ライブラリー、ファームウェア、ソフトウェアの最新版は L-acoustics のウェブサイトをご確認ください。



L-acoustics アンブリファイドコントローラーの操作

LA4、LA4X、LA8、LA12X、LA-RAK、LA-RAK II のユーザーマニュアルを参照してください。

LA Network Manager ソフトウェアのインストール

LA アンブリファイドコントローラーリリースパックをダウンロードし、リードミーファイルを参照してください。

L-acoustics アンブリファイドコントローラーのファームウェアアップデート

ソフトウェアに内包されている LA Network Manager ビデオチュートリアルを参照してください。

本書は LA4、LA4X、LA8、LA12X のプリセットライブラリーバージョン 5.6(.5)について説明します。

プリセット デザイン

ゲインストラクチャー

L-acoustics のすべてのファクトリープリセットのゲインは、音楽信号に類似したピンクノイズを基準信号としてキャリブレートされています。基準入力レベルはアナログ信号で **0 dBu**、デジタル信号で **-22 dBfs** です。

このレベルの信号を L-acoustics アンプリファイドコントローラーに入力すると、L-acoustics スピーカーエンクロージャーは 8 dB のヘッドルームをサウンドエンジニアに提供します。例外として小型スピーカーは 4 dB のヘッドルームにキャリブレートされています。(MTD108a、5XT、X8、8XT、KIVA、KILO)

このゲインストラクチャーにより、同じフォーマット（現場）で様々なタイプのエンクロージャーを使用するケースで L-acoustics システムのパワーリソース管理が容易になります。デフォルトの出力ゲイン設定（0 dB）であれば、すべてのエンクロージャーが同じプログラムレベルでリミットをむかえます。小型フォーマットのエンクロージャーを大型フォーマットのエンクロージャーと一緒に使うケースでは、小型フォーマットエンクロージャーに -4 dB のゲイン調整を適用します。



SB15m のヘッドルーム

SB15m のプリセットである[SB15_100]と[SB15_100_C]のヘッドルームは、プリセットライブラリー5.6(.5)から 8 dB に変更しました。ハイブリットプリセット[KIVA_SB15]、または以前のバージョンのプリセットを使用する場合のヘッドルームは 4 dB となります。

エレクトロ-アコースティック カップリング

推奨スピーカー構成に対して定められたプリセットを用いることにより、特定の放射パターンを持つコヒレントな音源となります。

L-acoustics ファクトリープリセットは、アクティブエンクロージャーの内部や、様々なスピーカーエンクロージャーを組み合わせた際に存在する「異なるトランスデューサーセクション間のカップリング」を確実にします。

既定のチャンネルセットに対して、ファクトリー設定上のプリセットパラメーターをユーザーが調整できます。

いくつかの特定のスピーカー構成用のプリセットと、アクティブスピーカーのプリセットに対してチャンネルセットを定めています。適切な出力チャンネルの組み合わせに対してルーティング、ゲイン、ディレイのパラメーターをリンクすることでコヒレントなカップリングが維持されます。例えば、[LF HF]は 2 ウェイエンクロージャー用プリセットのチャンネルセットです。また、[SR SB SB SB]はカーディオイドサブウハー用プリセットのチャンネルセットです。

本書は L-acoustics プロダクトファミリーを区分し、システムごとの推奨スピーカー構成と、適合するファクトリープリセット、得られる音響的な特性を一覧で示します。

サブウハーの「近接」と「分離」に関する制限は、該当するシステムのユーザーマニュアルを参照してください。

いくつかのエンクロージャーを組み合わせるケースではタイムアライメントのためにディレイ値の調整が必要です。詳細は[ブリアライメントディレイ値](#)のセクションを確認してください。

周波数レスポンスコンター

同軸スピーカーエンクロージャーである X シリーズには 2 つの異なるコンターがあります。

- 標準プリセット：ステージモニターを除くすべてのアプリケーション向け。
- MO プリセット：ステージモニターアプリケーション向け。

旧タイプの同軸スピーカーエンクロージャー（XT、MTD シリーズ）には 3 つの異なるコンターがあります。

- FR プリセット：一般的な FOH アプリケーション向け
- FI プリセット：フィルシステム、ジャズ、クラシック音楽、スピーチ向け。
- MO プリセット：1/2 自遊空間（スピーカーをフロア置くことを想定）におけるモニターアプリケーション向け。

現行の WST システムには 1 つまたは 2 つの異なるコンターがあります。

- メインのプリセット：一般的な配列のラインソースにおいて基準的な FOH コンター
- FI プリセット：当該スピーカーエンクロージャーをフィルシステムで使用する際に適したコンター（一部のシステムのみ）

従来の WST システムは従来のプリセット構成を引き継いでいます。（_HI と _LO のプリセット）

ユーザーは必要に応じて LA NETWORK MANAGER のコンターEQ ツールでシステムの音色を調整できます。

WST システムのレスポンス調整には 2 種類のアレイモーフィングツール（ズームファクターと LF コンター）を用います。これにより基準聴取距離やラインソース長に関わらず、異なるソース（アレイ）の音色を統一させることができます。（聴取距離が近いイメージ・遠いイメージ）（ライン長が短いイメージ・長いイメージ）詳細は LA NETWORK MANAGER のビデオチュートリアルとアレイモーフィング解説書を参照してください。

オンボード プリセットライブラリー

オンボードプリセットライブラリーは、適応するアンプリファイドコントローラーのドライブ能力と L-acoustics スピーカーエンクロージャーが必要とするパワーのマッチングがとられています。

アンプリファイドコントローラーの最大出力

タイプ	負荷	8 Ω	4 Ω	2.7 Ω
LA12X		4 x 1400 W	4 x 2600 W	4 x 3300 W
LA8		4 x 1100 W	4 x 1800 W	
LA4X		4 x 1000 W		適応外
LA4		4 x 800 W	4 x 1000 W	適応外

LA4 プリセットライブラリー

LA4 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリ領域である 011 から 089 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリ領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4 プリセットライブラリー 5.6

KIVA

011	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
012	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

013	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KIVAKILO

014	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

ARCS

015	ARCS_LO	ARCS、フルレンジ、LO コンター
016	ARCS_LO_60	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
017	ARCS_LO_100	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
018	ARCS_HI	ARCS、フルレンジ、HI コンター
019	ARCS_HI_60	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
020	ARCS_HI_100	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

021	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
022	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB18

023	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
024	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
025	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
026	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB118

027	SB118_60	SB118、LPF = 60 Hz
028	SB118_100	SB118、LPF = 100 Hz
029	SB118_60_C	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
030	SB118_100_C	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

031	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
032	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

033	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

12XTA

034	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
035	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
036	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
037	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
038	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
039	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

040	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
041	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
042	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
043	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
044	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
045	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

046	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
047	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
048	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
049	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
050	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
051	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

052	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

115XT

053	115XT_FI	115XT、フルレンジ、フィル
054	115XT_FI_100	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
055	115XT_FR	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
056	115XT_FR_100	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
057	115XT_MO	115XT、フルレンジ、モニター
058	115XT_MO_100	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

059	115bA_FI	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
060	115bA_FI_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
061	115bA_FR	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
062	115bA_FR_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
063	115bA_MO	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
064	115bA_MO_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

065	115bP_FI	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
066	115bP_FI_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
067	115bP_FR	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
068	115bP_FR_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
069	115bP_MO	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
070	115bP_MO_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

071	112XT_FI	112XT、フルレンジ、フィル
072	112XT_FI_100	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
073	112XT_FR	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
074	112XT_FR_100	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
075	112XT_MO	112XT、フルレンジ、モニター
076	112XT_MO_100	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

077	112b_FI	MTD112b、フルレンジ、フィル
078	112b_FI_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
079	112b_FR	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
080	112b_FR_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
081	112b_MO	MTD112b、フルレンジ、モニター
082	112b_MO_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

083	108a_FI	MTD108a、フルレンジ、フィル
084	108a_FI_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
085	108a_FR	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
086	108a_FR_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
087	108a_MO	MTD108a、フルレンジ、モニター
088	108a_MO_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

089	FLAT_LA4	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	----------	----------------------------

LA4Xプリセットライブラリー

LA4X オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 073 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA4Xプリセットライブラリー5.6

K2

011	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
012	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
013	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

KUDO

014	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
015	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
016	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
017	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
018	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
019	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
020	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
021	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
022	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

023	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
024	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
025	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み

KIVA II

026	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
027	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

028	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
029	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

030	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

031	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

ARCS_II

032	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS_WF

033	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
034	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB18

035	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
036	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
037	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
038	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

039	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
040	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

041	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

X15HiQ

042	X15	X15 HiQ、フルレンジ
043	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

044	X12	X12、フルレンジ、
045	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

046	X8	X8、フルレンジ、
047	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

048	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
049	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
050	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
051	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
052	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
053	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

054	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
055	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
056	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
057	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
058	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
059	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

060	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
061	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
062	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
063	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
064	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
065	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

066	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
067	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
068	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
069	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
070	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
071	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

072	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

FLAT

073	FLAT_LA4X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	-----------	----------------------------

LA8 プリセットライブラリー

LA8 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 149 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA8 プリセットライブラリー5.6

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

V-DOSC

018	V-DOSC_LO	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター
019	V-DOSC_LO_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、LO コンター
020	V-DOSC_LO_X	V-DOSC、フルレンジ、LO コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化
021	V-DOSC_HI	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター
022	V-DOSC_HI_60	V-DOSC、HPF = 60 Hz、HI コンター
023	V-DOSC_HI_X	V-DOSC、フルレンジ、HI コンター、[SB218_X]と[dV-S_X]に最適化

KUDO

024	KUDO50_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 50°設定
025	KUDO50_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 50°設定
026	KUDO50_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 50°設定
027	KUDO80_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 80°設定
028	KUDO80_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 80°設定
029	KUDO80_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 80°設定
030	KUDO110_25	KUDO、HPF = 25 Hz、K-ルーパー 110°設定
031	KUDO110_40	KUDO、HPF = 40 Hz、K-ルーパー 110°設定
032	KUDO110_60	KUDO、HPF = 60 Hz、K-ルーパー 110°設定

KARA

033	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
034	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
035	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組み込み済み

dV-DOSC

036	dV_FI	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、フィル
037	dV_LO	dV-DOSC、フルレンジ、LO コンター
038	dV_LO_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、LO コンター
039	dV_HI	dV-DOSC、フルレンジ、HI コンター
040	dV_HI_100	dV-DOSC、HPF = 100 Hz、HI コンター

dV-D_dvs

041	dV_dV-S_LO	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
042	dV_dV-S_HI	dV-DOSC と dV-SUB、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター
043	dV_dV-S_LO60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、LO コンター
044	dV_dV-S_HI60	dV-DOSC と dV-SUB、HPF = 60 Hz、クロスオーバー = 100 Hz、HI コンター

dV-SUB

045	dV-S_60_100	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 100 Hz
046	dV-S_100	dV-SUB、LPF = 100 Hz
047	dV-S_60_X	dV-SUB、HPF = 60 Hz、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_60]に最適化
048	dV-S_X	dV-SUB、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

ARCS_II

049	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS

050	ARCS_LO	ARCS、フルレンジ、LO コンター
051	ARCS_LO_60	ARCS、HPF = 60 Hz、LO コンター
052	ARCS_LO_100	ARCS、HPF = 100 Hz、LO コンター
053	ARCS_HI	ARCS、フルレンジ、HI コンター
054	ARCS_HI_60	ARCS、HPF = 60 Hz、HI コンター
055	ARCS_HI_100	ARCS、HPF = 100 Hz、HI コンター

ARCS_WF

056	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
057	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

SB28

058	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
059	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
060	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
061	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB218

062	SB218_60	SB218、LPF = 60 Hz
063	SB218_100	SB218、LPF = 100 Hz
064	SB218_X	SB218、LPF = 200 Hz、[V-DOSC_xx_X]に最適化

SB18

065	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
066	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
067	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
068	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB118

069	SB118_60	SB118、LPF = 60 Hz
070	SB118_100	SB118、LPF = 100 Hz
071	SB118_60_C	SB118、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
072	SB118_100_C	SB118、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

073	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
074	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KILO

075	KILO	KILO、LPF = 100 Hz
-----	------	-------------------

KIVA II

076	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
077	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

078	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
079	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

080	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

KILOKIVA

081	KIVA_KILO	KIVA & KILO、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	-----------	--

X15HiQ

082	X15	X15 HiQ、フルレンジ
083	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

084	X12	X12、フルレンジ、
085	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

086	X8	X8、フルレンジ、
087	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

088	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
089	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
090	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
091	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
092	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
093	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

094	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
095	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
096	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
097	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
098	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
099	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

100	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
101	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
102	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
103	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
104	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
105	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

106	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
107	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
108	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
109	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
110	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
111	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

112	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

115XT

113	115XT_FI	115XT、フルレンジ、フィル
114	115XT_FI_100	115XT、HPF = 100 Hz、フィル
115	115XT_FR	115XT、フルレンジ、フロントオブハウス
116	115XT_FR_100	115XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
117	115XT_MO	115XT、フルレンジ、モニター
118	115XT_MO_100	115XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bA

119	115bA_FI	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フィル
120	115bA_FI_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
121	115bA_FR	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
122	115bA_FR_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
123	115bA_MO	MTD115b、アクティブ、フルレンジ、モニター
124	115bA_MO_100	MTD115b、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

MTD115bP

125	115bP_FI	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フィル
126	115bP_FI_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
127	115bP_FR	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
128	115bP_FR_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
129	115bP_MO	MTD115b、パッシブ、フルレンジ、モニター
130	115bP_MO_100	MTD115b、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

112XT

131	112XT_FI	112XT、フルレンジ、フィル
132	112XT_FI_100	112XT、HPF = 100 Hz、フィル
133	112XT_FR	112XT、フルレンジ、フロントオブハウス
134	112XT_FR_100	112XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
135	112XT_MO	112XT、フルレンジ、モニター
136	112XT_MO_100	112XT、HPF = 100 Hz、モニター

MTD112b

137	112b_FI	MTD112b、フルレンジ、フィル
138	112b_FI_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フィル
139	112b_FR	MTD112b、フルレンジ、フロントオブハウス
140	112b_FR_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
141	112b_MO	MTD112b、フルレンジ、モニター
142	112b_MO_100	MTD112b、HPF = 100 Hz、モニター

MTD108a

143	108a_FI	MTD108a、フルレンジ、フィル
144	108a_FI_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フィル
145	108a_FR	MTD108a、フルレンジ、フロントオブハウス
146	108a_FR_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
147	108a_MO	MTD108a、フルレンジ、モニター
148	108a_MO_100	MTD108a、HPF = 100 Hz、モニター

FLAT

149	FLAT_LA8	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	----------	----------------------------

LA12Xプリセットライブラリー

LA12 オンボードプリセットライブラリーはコントローラーのファクトリーメモリー領域である 011 から 074 に保存されています。(001 から 010 まではユーザーが変更を施したプリセットを保存する専用のメモリー領域です。) 各プリセットファミリーにおけるプリセット番号、プリセット名、解説を以下の表で示します。

LA12X プリセットライブラリー5.6

K1

011	K1	K1、フルレンジ
-----	----	----------

K2

012	K2	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 70°設定
013	K2 90	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 90°設定
014	K2 110	K2、フルレンジ、アジャスタブルフィン 110°設定

K1-SB

015	K1SB_60	K1-SB、LPF = 60 Hz、コンター構成に最適化
016	K1SB_X	K1-SB、LPF = 200 Hz、K1 との組み合わせによるスロー構成に最適化
017	K1SB_X K2	K1-SB、LPF = 200 Hz、K2 との組み合わせによるスロー構成に最適化

KARA

018	KARA	KARA、フルレンジ、フロントオブハウス
019	KARA_FI	KARA、HPF = 100 Hz、フィル
020	KARADOWNK1	KARA、HPF = 100 Hz、K1 のダウンフィルとしてのディレイを組込み済み

ARCS_II

021	ARCS_II	ARCS II、フルレンジ
-----	---------	---------------

ARCS_WF

022	ARCS_WIFO	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フロントオブハウス
023	ARCS_WIFO_FI	ARCS WIDE または ARCS FOCUS、フルレンジ、フィル

KS28

024	KS28_60	KS28、LPF = 60 Hz
025	KS28_100	KS28、LPF = 100 Hz
026	KS28_60_C	KS28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
027	KS28_100_C	KS28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB28

028	SB28_60	SB28、LPF = 60 Hz
029	SB28_100	SB28、LPF = 100 Hz
030	SB28_60_C	SB28、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
031	SB28_100_C	SB28、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB18

032	SB18_60	SB18、LPF = 60 Hz
033	SB18_100	SB18、LPF = 100 Hz
034	SB18_60_C	SB18、LPF = 60 Hz、カーディオイドパターン
035	SB18_100_C	SB18、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

SB15

036	SB15_100	SB15、LPF = 100 Hz
037	SB15_100_C	SB15、LPF = 100 Hz、カーディオイドパターン

KIVA II

038	KIVA II	KIVA II フルレンジ、フロントオブハウス
039	KIVA II_FI	KIVA II フルレンジ、フィル

KIVA

040	KIVA	KIVA フルレンジ、フロントオブハウス
041	KIVA_FI	KIVA フルレンジ、フィル

SB15KIVA

042	KIVA_SB15m	KIVA & SB15m、フルレンジ、クロスオーバー = 100 Hz、フロントオブハウス
-----	------------	---

X15HiQ

043	X15	X15 HiQ、フルレンジ
044	X15_MO	X15 HiQ、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X12

045	X12	X12、フルレンジ、
046	X12_MO	X12、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

X8

047	X8	X8、フルレンジ、
048	X8_MO	X8、フルレンジ、モニター、低レイテンシー

115XTHiQ

049	HIQ_FI	115XTHiQ、フルレンジ、フィル
050	HIQ_FI_100	115XTHiQ、LPF = 100 Hz、フィル
051	HIQ_FR	115XTHiQ、フルレンジ、フロントオブハウス
052	HIQ_FR_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
053	HIQ_MO	115XTHiQ、フルレンジ、モニター
054	HIQ_MO_100	115XTHiQ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTA

055	12XTA_FI	12XT、アクティブ、フルレンジ、フィル
056	12XTA_FI_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フィル
057	12XTA_FR	12XT、アクティブ、フルレンジ、フロントオブハウス
058	12XTA_FR_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
059	12XTA_MO	12XT、アクティブ、フルレンジ、モニター
060	12XTA_MO_100	12XT、アクティブ、HPF = 100 Hz、モニター

12XTP

061	12XTP_FI	12XT、パッシブ、フルレンジ、フィル
062	12XTP_FI_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フィル
063	12XTP_FR	12XT、パッシブ、フルレンジ、フロントオブハウス
064	12XTP_FR_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
065	12XTP_MO	12XT、パッシブ、フルレンジ、モニター
066	12XTP_MO_100	12XT、パッシブ、HPF = 100 Hz、モニター

8XT

067	8XT_FI	8XT、フルレンジ、フィル
068	8XT_FI_100	8XT、HPF = 100 Hz、フィル
069	8XT_FR	8XT、フルレンジ、フロントオブハウス
070	8XT_FR_100	8XT、HPF = 100 Hz、フロントオブハウス
071	8XT_MO	8XT、フルレンジ、モニター
072	8XT_MO_100	8XT、HPF = 100 Hz、モニター

5XT

073	5XT	5XT、フルレンジ
-----	-----	-----------

FLAT

074	FLAT_LA12X	EQ フラット、アンプクリップを防止する最低限の保護
-----	------------	----------------------------

フラットプリセット



フラットプリセットの出力チャンネルに接続したトランスデューサーは L-DRIVE で保護されません。

FLAT プリセットで作用するリミットは「アンプ保護のためにクリップを最小化するものだけ」です。

サードパーティーのスピーカーエンクロージャーをドライブする場合は、スピーカーモデルに合わせたプリセットを持つ外部 DSP デバイスの併用を推奨します。

[FLAT_xxx]プリセットは、入力信号の周波数特性に変更を加えずに増幅し、ダイレクトに出力にルーティングします。なお、すべての出力パラメーターにアクセスできます。(ミュート、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ルーティング)

LA4 と LA4X の[FLAT]プリセットのヘッドルームは 6 dB、LA8 の[FLAT_LA8]プリセットのヘッドルームは 8 dB、LA12X の[FLAT_LA12X]プリセットのヘッドルームは 9.5 dB となります。

[FLAT_xxxx]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ポラリティ、ミュート、これらのパラメーターはユーザーが変更できます。

可変曲率 WST システム

可変曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットはロングスローアプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。
(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

K1

互換性の問題

 プリセットライブラリー4.x の[K1][KARADOWNK1][K2 xxx]のプリセットは、バージョン 4.0 未満のプリセットライブラリーと互換性がありません。

古いプリセットを使っているセッションファイルから仕事を始めると互換性の問題が発生します。一つのラインソースの中では、すべてのユニットで同じバージョンのプリセットライブラリーを使ってください。

スピーカー構成	LA8 プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K1 ラインソース	[K1]	-	-	35 Hz – 20 kHz
K1 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K1]	[K1SB_X]	-	低域スローイング強化
K1 ラインソース + 近接した K1-SB サブウーハー [横または後]	[K1]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去（側方偏極または 後方カーディオイド）
K1 ラインソース + サブウーハー	[K1]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB28 がカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]を用います。

 **垂直方向カバレッジ拡張ダウンフィルオプション**
K2 エンクロージャーは[K2_110]でドライブします。
KARA エンクロージャーは[KARADOWNK1]でドライブします。

[K1]と[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON

 スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KARADOWNK1]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



K1 のダウンフィル用としてのアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	K1	K1-SB	KS28 または SB28 *	
K2 ラインソース	[K2 xxx]	-	-	35 Hz – 20 kHz 水平指向角調整可能
K2 / K1-SB ラインソース [K1-SB が上段]	[K2 xxx]	[K1SB_X K2]	-	低域スローイング強化
K2 ラインソース + 近接した K1-SB サブウーハー [横または後]	[K2 xxx]	[K1SB_60]	-	30 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域除去 (側方偏極または 後方カーディオイド)
K2 ラインソース + サブウーハー	[K2 xxx]	-	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xx28_60_C]を用います。



K2 のフィン設定とプリセット

K2 のフィン設定に合わせて適合するプリセットを選んでください。

[K2 70] : 70°、[K2 90] : 90°、[K2 110] : 110°

詳細は K2 ユーザーマニュアルを参照してください。

[K2 xxx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[K1SB_X K2]と[K1SB_60]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

スピーカー構成	LA8 プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
KUDO ラインソース	[KUD0xx_25]		35 Hz – 20 kHz
	[KUD0xx_40]		40 Hz – 20 kHz
	[KUD0xx_60]		60 Hz – 20 kHz
KUDO ラインソース + サブウーハー	[KUD0xx_40]	[SBxx_60]	25 Hz まで拡張 (KS28 と SB28) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。



KUDO のルーバーとプリセット

KUDO のルーバーに合わせて適合するプリセットを選んでください。

[KUD050_xx] : 50°, [KUD080_xx] : 80°, [KUD0110_xx] : 110°

詳細は KUDO ユーザーマニュアルを参照してください。

[KUD0xx_xx]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

KARA



KARA と KARAI は同じエンクロージャーのバージョン違いです。推奨スピーカー構成とファクトリープリセットは同じです。

スピーカー構成	LA8 プリセット		音響特性
	Kudo	KS28、SB28、SB18*	
Kara ラインソース	[KARA]	-	55 Hz – 20 kHz
Kara ラインソース + 近接したサブウーハー	[KARA]	[SBxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28 または SB28)
Kara ラインソース + 離れたサブウーハー	[KARA]	[SBxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化
1 コまたは 2 コの Kara	[KARA_FI]	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[KARA]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[KARA_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

KIVA II

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva II	SB15m*	SB18*	
Kiva II ラインソース	[KIVA II]	-		70 Hz – 20 kHz
Kiva II ラインソース + 近接したサブウーハー	[KIVA II]	[SB15_100]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 (SB18) 40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
最大で 3 台の KIVA II エンクロージャー	[KIVA II_FI]	-		70 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
最大で 3 台の KIVA II エンクロージャー + 近接したサブウーハー	[KIVA II_FI]	[SB15_100]	-	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]をします。

[KIVA II]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA II_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

KIVA SB15m

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	Kiva	SB15m*	
Kiva ラインソース	[KIVA]	-	80 Hz – 20 kHz
Kiva ラインソース + 近接した SB15m	[KIVA_SB15]		40 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[KIVA]	[SB15_100]	
1 コまたは 2 コの Kiva	[KIVA_FI]	-	80 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
1 コまたは 2 コの Kiva 近接した SB15m	[KIVA_FI]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_SB15]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SB15m	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 2	PA					ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_SB15]はプリアライメントディレイが組み込まれています。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

KIVA KILO

スピーカー構成	プリセット			音響特性
	Kiva	Kilo	SB18*	
Kiva ラインソース	[KIVA]	-	-	80 Hz – 20 kHz
Kiva ラインソース + 近接した Kilo	[KIVA_KILO]		-	50 Hz まで拡張
Kiva ラインソース + 近接した Kilo + SB18	[KIVA_KILO]		[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[KIVA]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[KIVA_KILO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
KILO	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
KIVA	OUT 2	PA					ON
KIVA	OUT 3	PA					ON
KIVA	OUT 4	PA					ON



ハイブリットプリセットの[KIVA_KILO]はブリアライメントディレイが組み込まれています。

[KILO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	Sb	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

V-DOSC

スピーカー構成	LA8プリセット				音響特性
	V-DOSC*	dV-SUB	KS28/SB28/ SB218**	dV-DOSC	
V-DOSC ラインソース	[V-DOSC_LO] または [V-DOSC_HI]	-	-	-	40 Hz – 20 kHz
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB	[V-DOSC_xx_X]	[dV-S_X]	-	-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
V-DOSC ラインソース + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	-	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化
V-DOSC ラインソース + 近接した SB218	[V-DOSC_xx_X]	-	[SB218_X]	-	
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB + KS28 / SB28	[V-DOSC_xx_60]	[sV-S_60_X]	[xx28_60]	-	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低域リソースを追加
V-DOSC ラインソース + 近接した dV-DOSC	[V-DOSC_xx]	-	-	[dV_xx_100]	ダウンスピーク カバレッジ

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[V-DOSC_LO],[V-DOSC_HI],[V-DOSC_xx_60],[V-DOSC_xx_X]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
左側 低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
右側 低域	OUT 2	LF					ON
中域	OUT 3	MF					ON
高域	OUT 4	HF					ON



スピーカーを正面から見た右側と左側

[dV-S_X],[dV-S_60_X],[SB218_X]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

dV-DOSC

スピーカー構成	LA8プリセット			音響特性
	dV-DOSC*	dV-SUB	SB118, SB18 SB218, SB28 KS28 **	
dV-DOSC ラインソース	[dV_LO] または [dV_HI]	-	-	65 Hz – 20 kHz
dV-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB	[dV_dV-S_xx]		-	35 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[dV_xx_100]	[dV-S_100]		
dV-DOSC ラインソース + 近接した SB	[dV_xx_100]	—	[xxxx_100]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218)
dV-DOSC ラインソース + 近接した dV-SUB + 近接した SB	[dV_xx_100]	[dV-S_60_100]	[xxxx_60]	
1 コまたは 2 コの dV-DOSC	[dV_FI]	-	-	フラットレスポンス HPF 100 Hz

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[dV_LO] [dV_HI] [dV_xx_60] [dV_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV_FI]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[dV-S_100] [dV-S_60_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[dV_dV-S_HI] [dV_dV-S_HI60] [dV_dV-S_LO] [dV_dV-S_LO60]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
dV-SUB	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-SUB	OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC LF	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
dV-DOSC HF	OUT 4	HF					ON



[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV_dV-S_xx]はプリアライメントディレイを含んでいます。

[dV_LO_100]または[dV_HI_100]と[dV-S_60_100]を組み合わせたハイブリッドプリセット[dV-S_60_100]はプリアライメントディレイを含んでいます。



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

定曲率 WST システム

定曲率 WST ラインソース用のファクトリープリセットは**ミディアムスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。
(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

ARCS II

スピーカー構成	LA8 プリセット		音響特性
	ARCS II	KS28 / SB28*	
ARCS II ラインソース	[ARCS II]	-	50 Hz – 20 kHz
ARCS II ラインソース + サブウーハー	[ARCS II]	[xx28_60]	25 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[ARCS II]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS Wide / ARCS Focus	SB18*	
WiFo ラインソース	[ARCS_WIFO]	-	55 Hz – 20 kHz
WiFo ラインソース + SB18m	[ARCS_WIFO]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
単体 WiFo	[ARCS_WIFO_FI]	-	55 Hz – 20 kHz フラットレスポンス
単体 WiFo + SB18m	[ARCS_WIFO_FI]	[SB18_60]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

[ARCS_WIFO] [ARCS_WIFO_FI]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	ARCS	SB18 / SB118 KS28 / SB28 / SB218	
ARCS ラインソース	[ARCS_LO]または[ARCS_HI]	-	50 Hz – 20 kHz
ARCS ラインソース + SB	[ARCS_xx_60]	[xxxx_60]	32 Hz まで拡張 (SB18 / SB118)
ARCS ラインソース + 近接した SB	[ARCS_xx_100]	[xxxx_100]	25 Hz まで拡張 (KS28 / SB28 / SB218) 低域コンターを強化

* [xx_LO]は標準的な HF コンター。[xx_HI]は HF コンターを増強。

** サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[xxxx_xx_C]を用います。

[ARCS_LO] [ARCS_HI] [ARCS_xx_60] [ARCS_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

同軸スピーカーエンクロージャー

同軸エンクロージャー用のファクトリープリセットは**ショートスロー**アプリケーション向けに最適化されています。このセクションの表は、スピーカー構成とそれぞれのシステムのファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。(-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など)

X15 HiQ

X15 HiQ は同軸アクティブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X15 HiQ	SB18	
X15 HiQ	[X15]	-	55 Hz – 20 kHz
	[X15_MO]	-	52 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X15 HiQ + SB18	[X15]	[SB18_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化
	[X15_MO]		32 Hz まで拡張 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB18_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X15] [X15_MO]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON

[SB18_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SB18_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

X12

X12 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X12	SB15m または SB18	
X12	[X12]	-	59 Hz – 20 kHz
	[X12_MO]	-	57 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X12 + SB	[X12]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化
	[X12_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X12] [X12_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

X8 は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	X8	SB15m*	
X8	[X8]	-	60 Hz – 20 kHz
	[X8_MO]	-	55 Hz – 20 kHz 低レイテンシー
X8 + SB15m	[X8]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化
	[X8_MO]		40 Hz まで拡張 (SB15m) 低域コンターを強化 低レイテンシー

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SB15_100_C]を用います。



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

[X8] [X8_MO]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[SBxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

5XT

5XT は同軸パッシブエンクロージャーです。

スピーカー構成	プリセット		音響特性
	5XT	SB15m*	
5XT	[5XT]	-	95 Hz – 20 kHz
X12 + SB15m	[5XT]	[SB15_100]	40 Hz まで拡張 低域コンターを強化

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_100_C]を用います。

[5XT]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON

[SB15_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP

8XT、12XTP、MTD108a、MTD112b、MTD115bP は同軸パッシブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸パッシブエンクロージャー	プリセット
8XT	[8XT_xx]
12XT パッシブモード	[12XTP_xx]
MTD108a	[108a_xx]
MTD112b	[112b_xx]
MTD115b パッシブモード	[115bP_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	パッシブ xxx	SB15m*, SB18 SB118		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンターから選択
同軸 + 近接した SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 低域コンターを強化	

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	PA	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	PA	IN B	0 dB	0 ms	+	ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

12XTA、115XT HiQ、MTD115bA、115XT

12XTA、115XT、115XT HiQ、MTD115bA は同軸アクティブエンクロージャーです。

プリセット名

同軸アクティブエンクロージャー	プリセット
12XT (アクティブモード)	[12XTA_xx]
115XT HiQ	[HiQ_xx]
MTD115b (アクティブモード)	[115bA_xx]
115XT	[115XT_xx]

スピーカー構成	プリセット		音響特性	
	アクティブ xxx	SB18 / SB118*		
同軸	[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO]	-	公称バンドワイズ	3つのコンターから選択
同軸 + 近接した SB	[xxx_xx_100]	[SBxx_100]	32 Hz まで拡張 低域コンターを強化	

* SB サブウーハーがカーディオイドアレイの場合は[SBxx_xx_C]を用います。

** [xxx_FR]は FOH 用途向け、[xxx_FI]はスピーチ・クラシック音楽・補助システム向け、[xxx_MO]は半自遊空間（床・壁・天井）に設置される場合向けです。

[xxx_FR] [xxx_FI] [xxx_MO] [xxx_xx_100]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
低域	OUT 1	LF	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 2	HF					ON
低域	OUT 3	LF	IN B	0 dB	0 ms	+	ON
高域	OUT 4	HF					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

サブウーハーエンクロージャー

このセクションの表は、L-acoustics の汎用サブウーハーの構成と対応するファクトリープリセットについて示すとともに、スピーカー構成ごとの音響特性を表記しています。（-10 dB バンドワイズ、低域限界、周波数特性コンター、指向特性など）

サブウーハー	可能なプリセット	最適な互換
SB15m	[SB15_100]または[SB15_100_C]	近接 KIVA, 近接 KIVA II, XT, X12, X8
SB18(i) SB18m	[SB18_60]または[SB18_60_C]	Kudo, Kara, Kiva/Kilo, ARCS, ARCS Wide, ARCS Focus
	[SB18_100]または[SB18_100_C]	Kara, ARCS, XT
SB118	[SB118_60]または[SB118_60_C]	Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kiva/Kilo, ARCS
	[SB118_100]または[SB118_100_C]	dV-DOSC, ARCS, XT, 近接 MTD
SB28	[SB28_60]または[SB28_60_C]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[SB28_100]または[SB28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
KS28	[KS28_60]または[KS28_60_C]	K1, K2, V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, Kara/SB18, ARCS, ARCS II
	[KS28_100]または[KS28_100_C]	dV-DOSC, Kara, 近接 ARCS
SB218	[SB218_60]	V-DOSC, Kudo, dV-DOSC/dV-SUB, ARCS
	[SB218_100]	dV-DOSC, 近接 ARCS

スピーカー構成*	プリセット**	音響特性
標準	[xxxx_60] [xxxx_100]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218)
カーディオイド	[xxxx_60_C] [xxxx_100_C]	40 Hz まで拡張 (SB15m) 32 Hz まで拡張 (SB18/SB118) 25 Hz まで拡張 (KS28/SB28/SB218) カーディオイドパターン

* 構成ごとのキャビネット配列パターンはユーザーマニュアルを参照してください。

** SB28 と SB218 は LA8 または LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブできます。KS28 は LA12X アンプリファイドコントローラーでドライブします。

[xxxx_60] [xxxx_100]

アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
OUT 1	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 2	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 3	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
OUT 4	SB	IN A	0 dB	0 ms	+	ON

[xxxx_60_C] [xxxx_100_C]

スピーカーエレメント	アウトプット	チャンネル	ルーティング	ゲイン	ディレイ	ポラリティ	ミュート
SR	OUT 1	SR	IN A	0 dB	0 ms	+	ON
SB	OUT 2	SB					ON
SB	OUT 3	SB					ON
SB	OUT 4	SB					ON



ルーティング、ゲイン、ディレイ、ポラリティ、ミュートはユーザーが変更できます。

プリアライメントディレイ値



幾何学的な計測によるタイムアライメント

いくつかのスピーカーシステムを組み合わせる場合には、音響的な合算を最適化するために、それらのディレイ値を調整することが重要です。音響測定ツールが無いケースでは、このセクションの表に示されたプリアライメントディレイ値を使用します。

プリアライメントディレイはエンクロージャーの前面が同一平面上の幾何学的に同じ場所に位置する状態で計測されています。

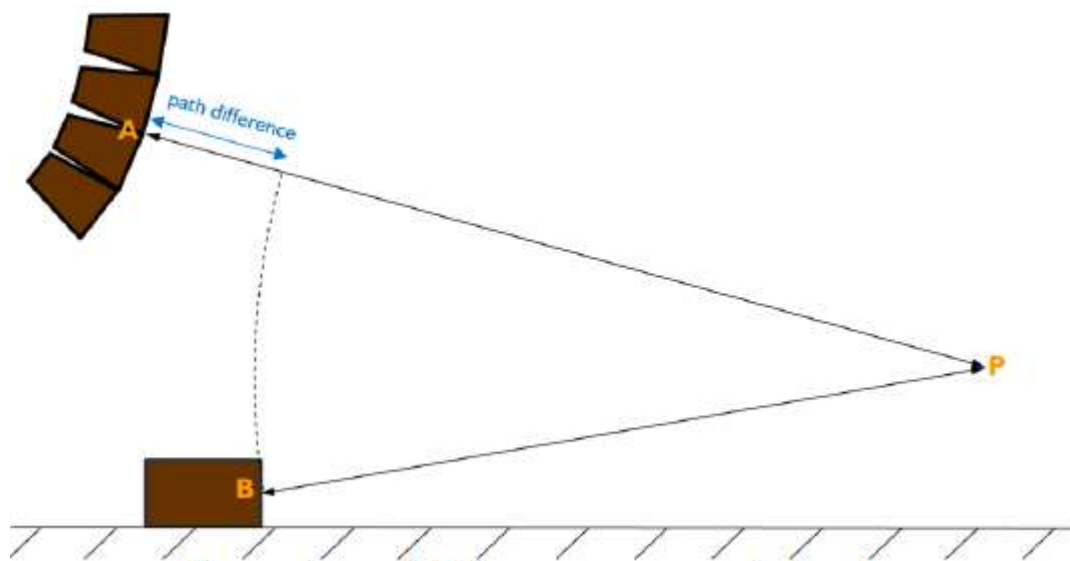
最初にファクトリープリセットにこれらの値を付加し、次にタイムアライメントとして最も到達距離が短いシステムに幾何学的なディレイを追加します。幾何学的なディレイは基準リスニングポイントと各システムとの到達距離差から算出します。



レーザーレンジファインダー（レーザー距離計）

L-acoustics の Tech Toolcase には距離計測に使用できる truPulse™200 と Leica DISTO™D3、2つのレーザーデバイスを含んでいます。

ラインソース + 離れたサブウーハー



手順

1. PA - PB 間の到達距離差を計測する。
 - P : 基準となるリスニングポイント
 - A : リスニングポイントからの距離が遠いシステムの中心、システム a と名付けます。
 - B : リスニングポイントからの距離が近いシステムの中心、システム b と名付けます。
2. 幾何学的なディレイを計算 (S) : 到達距離差 (m) / 音速 ($\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$)
 - 音速 $\approx 340 \text{ m}\cdot\text{s}^{-1}$ 20℃ 空気が乾燥した状態
3. このセクションの表から、システム a とシステム b を組み合わせる場合の「a のプリアライメントディレイ」と「b のプリアライメントディレイ」を読み取ります。
4. それぞれのシステムのファクトリープリセットにアライメントディレイを加えます。さらに、基準リスニングポイントに近い「システム b」にのみ、幾何学的なディレイを加えます。
 - a) システム a のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ a (ms)**
 - b) システム b のアライメントディレイ (ms) = **プリアライメントディレイ b (ms)** + 幾何学的なディレイ (ms)ノーマライズ : 上の値の差分を保ったまま、値の小さいほうが 0 になるように再計算し入力します。

可変曲率 WST システム

K1 + K1-SB

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [K1SB_X]	K1 = 0	K1-SB = 0
[K1] + [K1SB_60]	K1 = 6	K1-SB = 0

K1 + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [SB28_60]	K1 = 0	SB28 = 6
[K1] + [SB28_60_C]	K1 = 0	SB28 = 0.5

K1 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K1] + [KS28_60]	K1 = 0	KS28 = 6
[K1] + [KS28_60_C]	K1 = 0	KS28 = 0.5

K1 + K1-SB + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 6
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 0.5
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 8	K1-SB = 2	SB28 = 0
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 13.5	K1-SB = 7.5	SB28 = 0

K1 + K1-SB + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60]	K1 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 6
[K1] + [K1SB_X] + [SB28_60_C]	K1 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 0.5
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K1 = 8	K1-SB = 2	KS28 = 0
[K1] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K1 = 13.5	K1-SB = 7.5	KS28 = 0

K2 + K1-SB

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [K1SB_X K2]	K2 = 0	K1-SB = 0
[K2] + [K1SB_60]	K2 = 6	K1-SB = 0

K2 + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [SB28_60]	K2 = 0	SB28 = 6
[K2] + [SB28_60_C]	K2 = 0	SB28 = 0.5

K2 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[K2] + [KS28_60]	K2 = 0	KS28 = 6
[K2] + [KS28_60_C]	K2 = 0	KS28 = 0.5

K2 + K1-SB + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60]	K2 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 6
[K2] + [K1SB_X K2] + [SB28_60_C]	K2 = 0	K1-SB = 0	SB28 = 0.5
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60]	K2 = 8	K1-SB = 2	SB28 = 0
[K2] + [K1SB_60] + [SB28_60_C]	K2 = 13.5	K1-SB = 7.5	SB28 = 0

K2 + K1-SB + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60]	K2 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 6
[K2] + [K1SB_X K2] + [KS28_60_C]	K2 = 0	K1-SB = 0	KS28 = 0.5
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60]	K2 = 8	K1-SB = 2	KS28 = 0
[K2] + [K1SB_60] + [KS28_60_C]	K2 = 13.5	K1-SB = 7.5	KS28 = 0

KUDO + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB118_60]	Kudo = 0	SB118 = 3.5
[KUDO xx_60] + [SB118_60_C]	Kudo = 2	SB118 = 0

KUDO + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB18_60]	Kudo = 0	SB18 = 3.9
[KUDO xx_60] + [SB18_60_C]	Kudo = 1.6	SB18 = 0

KUDO + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB218_60]	Kudo = 0	SB218 = 5

KUDO + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [SB28_60]	Kudo = 0	SB28 = 5
[KUDO xx_60] + [SB28_60_C]	Kudo = 0.5	SB28 = 0

KUDO + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KUDO xx_60] + [KS28_60]	Kudo = 0	KS28 = 5
[KUDO xx_60] + [KS28_60_C]	Kudo = 0.5	KS28 = 0

KARA + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [SB18_100]	Kara = 0	SB18 = 0
[KARA_FI] + [SB18_100]	Kara = 3.0	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_100_C]	Kara = 5.5	SB18 = 0
[KARA_FI] + [SB18_100_C]	Kara = 8.5	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_60]	Kara = 2.5	SB18 = 0
[KARA] + [SB18_60_C]	Kara = 8	SB18 = 0

KARA + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [SB28_100]	Kara = 0	SB28 = 1.35
[KARA] + [SB28_100_C]	Kara = 4.2	SB28 = 0
[KARA] + [SB28_60]	Kara = 0.3	SB28 = 0
[KARA] + [SB28_60_C]	Kara = 5.9	SB28 = 0

KARA + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KARA] + [KS28_100]	Kara = 0	KS28 = 1.35
[KARA] + [KS28_100_C]	Kara = 4.2	KS28 = 0
[KARA] + [KS28_60]	Kara = 0.3	KS28 = 0
[KARA] + [KS28_60_C]	Kara = 5.9	KS28 = 0

KARA + SB18 + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60]	Kara = 0	SB18 = 0	SB28 = 1.3
[KARA] + [SB18_100] + [SB28_60_C]	Kara = 4.2	SB18 = 4.2	SB28 = 0

KARA + SB18 + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60]	Kara = 0	SB18 = 0	KS28 = 1.3
[KARA] + [SB18_100] + [KS28_60_C]	Kara = 4.2	SB18 = 4.2	KS28 = 0

Kiva + Kilo

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA] + [KILO]	Kiva = 0	Kilo = 1.5

Kiva/Kilo + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_KILO] + [SB118_60]	Kiva/Kilo = 0	SB118 = 5.9
[KIVA_KILO] + [SB118_60_C]	Kiva/Kilo = 0	SB118 = 0.4

Kiva/Kilo + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_KILO] + [SB18_60]	Kiva/Kilo = 0	SB18 = 6.3
[KIVA_KILO] + [SB18_60_C]	Kiva/Kilo = 0	SB18 = 0.8

Kiva + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA] + [SB15_100]	Kiva = 0	SB15m = 1.4
[KIVA] + [SB15_100_C]	Kiva = 2.4	SB15m = 0
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva = 0	SB15m = 0.6

Kiva/SB15m + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA_SB15] + [SB18_60]	Kiva /SB15m = 0	SB18 = 8.5
[KIVA_SB15] + [SB18_60_C]	Kiva /SB15m = 0	SB18 = 3

KIVA II + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[KIVA II] + [SB15_100]	Kiva II = 0	SB15m = 1
[KIVA II] + [SB15_100_C]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0
[KIVA_FI] + [SB15_100]	Kiva II = 0	SB15m = 0.7
[KIVA_FI] + [SB15_100_C]	Kiva II = 3	SB15m = 0

KIVA II + SB15m + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60]	Kiva II = 0	SB15m = 1	SB18 = 8.5
[KIVA II] + [SB15_100] + [SB18_60_C]	Kiva II = 0	SB15m = 1	SB18 = 2.95
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0	SB18 = 11.2
[KIVA II] + [SB15_100_C] + [SB18_60_C]	Kiva II = 2.7	SB15m = 0	SB18 = 5.65

V-DOSC + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_X] + [SB218_X]	V-DOSC = 1.8	SB218 = 0
[V-DOSC_xx_60] + [SB218_60]	V-DOSC = 0	SB218 = 3.8

V-DOSC + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60]	V-DOSC = 0	SB28 = 3.8
[V-DOSC_xx_60] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.7	SB28 = 0

V-DOSC + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60]	V-DOSC = 0	KS28 = 3.8
[V-DOSC_xx_60] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.7	KS28 = 0

V-DOSC + dV-SUB

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_X] + [dV-S_X]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2

V-DOSC + dV-SUB+ SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB218_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	SB218 = 3.7

V-DOSC + dV-SUB+ SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	SB28 = 3.7
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [SB28_60_C]	V-DOSC = 1.9	dV-SUB = 2	SB28 = 0

V-DOSC + dV-SUB+ KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60]	V-DOSC = 0	dV-SUB = 0.2	KS28 = 3.7
[V-DOSC_xx_60] + [dV-S_60_X] + [KS28_60_C]	V-DOSC = 1.9	dV-SUB = 2	KS28 = 0

V-DOSC + dV-DOSC

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] [dV_xx_100]	V-DOSC = 0	dV-DOSC = 0

V-DOSC + dV-DOSC downfill

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[V-DOSC_xx_60] [dV_xx_100]	V-DOSC = 0	dV-DOSC = 0.04

dV-DOSC + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB118_100]	dV = 2.7	SB118 = 0
[dV_xx_100] [SB118_100_C]	dV = 8.3	SB118 = 0

dV-DOSC + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB218_100]	dV = 0.8	SB218 = 0

dV-DOSC + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB18_100]	dV = 2.4	SB18 = 0
[dV_xx_100] + [SB18_100_C]	dV = 8	SB18 = 0

dV-DOSC + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [SB28_100]	dV = 0.8	SB28 = 0
[dV_xx_100] + [SB28_100_C]	dV = 6.3	SB28 = 0

dV-DOSC + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [KS28_100]	dV = 0.8	SB28 = 0
[dV_xx_100] + [KS28_100_C]	dV = 6.3	SB28 = 0

dV-DOSC + dV-SUB

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[dV_xx_100] + [dV-S_100]	dV = 0	dV-SUB = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB118 = 4
[dV_xx_100] + [dV-S_60_100] + [SB118_60_C]	dV = 1.5	dV-SUB = 2.25	SB118 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB218_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB218 = 4.5

dV-DOSC + dV-SUB + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB18_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB18 = 4.4
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB18_60_C]	dV = 1.1	dV-SUB = 1.85	SB18 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB28_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	SB28 = 4.5
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [SB28_60_C]	dV = 1	dV-SUB = 1.75	SB28 = 0

dV-DOSC + dV-SUB + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)		
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [KS28_60]	dV = 0	dV-SUB = 0.75	KS28 = 4.5
[dV_xx_100]+[dV-S_60_100] + [KS28_60_C]	dV = 1	dV-SUB = 1.75	KS28 = 0

定曲率 WST システム

ARCS + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB118_60]	ARCS = 0.8	SB118 = 0
[ARCS_xx_60] + [SB118_60_C]	ARCS = 6.3	SB118 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB118_100]	ARCS = 1.4	SB118 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB118_100_C]	ARCS = 6.9	SB118 = 0

ARCS + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB18_60]	ARCS = 0.4	SB18 = 0
[ARCS_xx_60] + [SB18_60_C]	ARCS = 5.9	SB18 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB18_100]	ARCS = 1.1	SB18 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB18_100_C]	ARCS = 6.6	SB18 = 0

ARCS + SB218

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB218_60]	ARCS = 0	SB218 = 0.9
[ARCS_xx_100] + [SB218_100]	ARCS = 0	SB218 = 0.3

ARCS + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [SB28_60]	ARCS = 0	SB28 = 0.6
[ARCS_xx_60] + [SB28_60_C]	ARCS = 4.9	SB28 = 0
[ARCS_xx_100] + [SB28_100]	ARCS = 0	SB28 = 0.5
[ARCS_xx_100] + [SB28_100_C]	ARCS = 5.0	SB28 = 0

ARCS + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_xx_60] + [KS28_60]	ARCS = 0	KS28 = 0.6
[ARCS_xx_60] + [KS28_60_C]	ARCS = 4.9	KS28 = 0
[ARCS_xx_100] + [KS28_100]	ARCS = 0	KS28 = 0.5
[ARCS_xx_100] + [KS28_100_C]	ARCS = 5.0	KS28 = 0

ARCS II + SB28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_II] + [SB28_60]	ARCS II = 0	SB28 = 2.6
[ARCS_II] + [SB28_60_C]	ARCS II = 2.9	SB28 = 0

ARCS II + KS28

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_II] + [KS28_60]	ARCS II = 0	KS28 = 2.6
[ARCS_II] + [KS28_60_C]	ARCS II = 2.9	KS28 = 0

ARCS Wide/Focus +SB18m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI] + [SB18_60]	ARCS Wide/Focus = 1.7	SB18m = 0
[ARCS_WIFO] or [ARCS_WIFO_FI]+ [SB18_60_C]	ARCS Wide /Focus = 7.2	SB18m = 0

同軸スピーカーエンクロージャー



X シリーズの[xx_MO]プリセットを選択したアンプリファイドコントローラーは低レイテンシーモードで動作します。サブウーハーと組み合わせるケースでは、[xx_MO]と[SBxx_100]を 1 つのプリセットにまとめたカスタムプリセットを作り、そのカスタムプリセットを使うことをおすすめします。

[xx_MO]とサブウーハーを別のアンプでドライブするケースでは、サブウーハーのファクトリープリセットをロードしたアンプリファイドコントローラーが通常のレイテンシーモードで動作するので、タイムアライメントを適合させるために低レイテンシーモードで動作している[xx_MO]側にディレイを付加します。(LA4 と LA8 は 2.65 ms。LA4X と LA12X は 3.08 ms。)

X15 HiQ + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X15] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0	SB18 = 0
[X15_MO] + [SB18_100]	X15 HiQ = 0	SB18 = 0

X12 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X12] + [SB15_100]	X12 = 0	SB15m = 2.8
[X12_MO] + [SB15_100]	X12 = 0	SB15m = 2.8

X12 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X12] + [SB18_100]	X8 = 0	SB18 = 0
[X12_MO] + [SB18_100]	X8 = 0	SB18 = 0

X8 + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[X8] + [SB15_100]	ARCS = 0	SB15m = 2.6
[X8_MO] + [SB15_100]	ARCS = 4.9	SB15m = 2.6

115XT HiQ + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6	SB118 = 0
[HIQ_FR_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.6	SB118 = 0
[HIQ_MO_100] + [SB118_100]	HiQ = 2.5	SB118 = 0

115XT HiQ + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3	SB18 = 0
[HIQ_FR_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.3	SB18 = 0
[HIQ_MO_100] + [SB18_100]	HiQ = 2.2	SB18 = 0

115HIQ + dV-SUB

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[HIQ_FI_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.6	dV-SUB = 0
[HIQ_FR_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.6	dV-SUB = 0
[HIQ_MO_100] + [dV-S_100]	115XTHiQ = 0.5	dV-SUB = 0

アクティブ 12XT + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTA_FI_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6	SB118 = 0
[12XTA_FR_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.6	SB118 = 0
[12XTA_MO_100] + [SB118_100]	12XTA = 2.5	SB118 = 0

アクティブ 12XT + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTA_FI_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3	SB18 = 0
[12XTA_FR_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.3	SB18 = 0
[12XTA_MO_100] + [SB18_100]	12XTA = 2.2	SB18 = 0

パッシブ 12XT + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTP_FI_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0
[12XTP_FR_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0
[12XTP_MO_100] + [SB118_100]	12XTP = 2.4	SB118 = 0

パッシブ 12XT + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[12XTP_FI_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0
[12XTP_FR_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0
[12XTP_MO_100] + [SB18_100]	12XTP = 2.1	SB18 = 0

8XT + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[8XT_FI_100] + [SB118_100]	8XT = 3.1	SB118 = 0
[8XT_FR_100] + [SB118_100]	8XT = 3.2	SB118 = 0
[8XT_MO_100] + [SB118_100]	8XT = 3.0	SB118 = 0

8XT + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[8XT_FI_100] + [SB18_100]	8XT = 2.8	SB18 = 0
[8XT_FR_100] + [SB18_100]	8XT = 2.9	SB18 = 0
[8XT_MO_100] + [SB18_100]	8XT = 2.7	SB18 = 0

5XT + SB15m

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[5XT] + [SB15_100]	5XT = 0.3	SB15 = 0

115XT + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115XT_FI_100] + [SB118_100]	115XT = 2.6	SB118 = 0
[115XT_FR_100] + [SB118_100]	115XT = 2.5	SB118 = 0
[115XT_MO_100] + [SB118_100]	115XT = 2.9	SB118 = 0

115XT +SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115XT_FI_100] + [SB18_100]	115XT = 2.3	SB18 = 0
[115XT_FR_100] + [SB18_100]	115XT = 2.2	SB18 = 0
[115XT_MO_100] + [SB18_100]	115XT = 2.6	SB18 = 0

アクティブ MTD115 + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bA_FI_100] + [SB118_100]	115bA = 2.4	SB118 = 0
[115bA_FR_100] + [SB118_100]	115bA = 2.5	SB118 = 0
[115bA_MO_100] + [SB118_100]	115bA = 2.7	SB118 = 0

アクティブ MTD115 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bA_FI_100] + [SB18_100]	115bA = 2.1	SB18 = 0
[115bA_FR_100] + [SB18_100]	115bA = 2	SB18 = 0
[115bA_MO_100] + [SB18_100]	115bA = 2.4	SB18 = 0

パッシブ MTD115 + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bP_FI_100] + [SB118_100]	115bP = 2.1	SB118 = 0
[115bP_FR_100] + [SB118_100]	115bP = 2.2	SB118 = 0
[115bP_MO_100] + [SB118_100]	115bP = 2.8	SB118 = 0

パッシブ MTD115 + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[115bP_FI_100] + [SB18_100]	115bP = 1.8	SB18 = 0
[115bP_FR_100] + [SB18_100]	115bP = 1.9	SB18 = 0
[115bP_MO_100] + [SB18_100]	115bP = 2.5	SB18 = 0

112XT +SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[112XT_FI_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3	SB118 = 0
[112XT_FR_100] + [SB118_100]	112XT = 2.3	SB118 = 0
[112XT_MO_100] + [SB118_100]	112XT = 2.6	SB118 = 0

112XT +SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[112XT_FI_100] + [SB18_100]	112XT = 2	SB18 = 0
[112XT_FR_100] + [SB18_100]	112XT = 2	SB18 = 0
[112XT_MO_100] + [SB18_100]	112XT = 2.3	SB18 = 0

MTD112b + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[112b_FI_100] + [SB118_100]	112b = 2.4	SB118 = 0
[112b_FR_100] + [SB118_100]	112b = 2.5	SB118 = 0
[112b_MO_100] + [SB118_100]	112b = 3.0	SB118 = 0

MTD112b + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[112b_FI_100] + [SB18_100]	112b = 2.1	SB18 = 0
[112b_FR_100] + [SB18_100]	112b = 2.2	SB18 = 0
[112b_MO_100] + [SB18_100]	112b = 2.7	SB18 = 0

MTD108a + SB118

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[108a_FI_100] + [SB118_100]	108a = 3.5	SB118 = 0
[108a_FR_100] + [SB118_100]	108a = 3.6	SB118 = 0
[108a_MO_100] + [SB118_100]	108a = 4.0	SB118 = 0

MTD108a + SB18

プリセット	プリアライメントディレイ値 (ms)	
[108a_FI_100] + [SB18_100]	108a = 3.2	SB18 = 0
[108a_FR_100] + [SB18_100]	108a = 3.3	SB18 = 0
[108a_MO_100] + [SB18_100]	108a = 3.7	SB18 = 0

アンプリファイドコントローラーごとのエンクロージャードライブ能力

LA4 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

1 台の LA4 に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	3	12
8XT	2	8
アクティブ 12XT	2	4
パッシブ 12XT	1	4
112XT	2	4
115XT HiQ	1	2
115XT	1	2
MTD108a	2	8
MTD112b	1	4
アクティブ MTD115b	1	2
パッシブ MTD115b	1	4

1 台の LA4 に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	1	4
ARCS	1	2

1 台の LA4 に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	2	8

1 台の LA4 に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	1	4
SB18	1	4
SB118	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。

LA4X アンブリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

1 台の LA4X に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	4	16
X8	2	8
X12	1	4
X15 HiQ	1	2
8XT	2	8
アクティブ 12XT	2	4
パッシブ 12XT	1	4
115XT HiQ	1	2

1 台の LA4X に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	1	4
ARCS II	1	2

1 台の LA4X に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	2	8
Kiva II	2	8
Kara	2	4
K2	1	1
Kudo	1	1

1 台の LA4X に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	1	4
SB18	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。



ARCS、SB118、MTD シリーズ、112XT、115XT の最大接続は LA4 の表を参照してください。

LA8 アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

1 台の LA8 に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	6	24
X8	3	8
X12	2	8
X15 HiQ	2	4
8XT	3	12
アクティブ 12XT	3	6
パッシブ 12XT	2	8
112XT	3	6
115XT	3	6
115XT HiQ	2	4
MTD108a	3	12
MTD112b	2	8
アクティブ MTD115b	2	4
パッシブ MTD115b	2	8

1 台の LA8 に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	2	8
ARCS II	2	4
ARCS	3	6

1 台の LA8 に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva / Kilo	3	12
Kiva II	4	16
Kara	3	6
K2	3	3
K1	2	2
K1-SB	1	4
Kudo	3	3
V-DOSC	2	2
dV-DOSC	3	6

1 台の LA8 に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	2	6
SB18	2	8
SB28	1	4
SB118	2	8
SB218	1	4
dV-SUB	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。

接続するエンクロージャーの総数が、コントローラーあたりでドライブできるキャビネットの最大数を超えていないことを確認してください。例として、LA8 は出力チャンネルあたり 3 つの X8 をドライブできますが、1 台の LA8 でドライブできる X8 の最大数は 8 です。LA8 は出力チャンネルあたり 2 つの SB15m をドライブできますが、1 台の LA8 でドライブできる SB15m の最大数は 6 です。

LA12X アンプリファイドコントローラー1 台でドライブできるキャビネット数

1 台の LA12X に対する同軸エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
5XT	6	24
X8	3	12
X12	3	12
X15 HiQ	3	6
8XT	3	12
アクティブ 12XT	3	6
パッシブ 12XT	3	12
115XT HiQ	3	6

1 台の LA12X に対する定曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
ARCS Wide / ARCS Focus	3	12
ARCS II	3	6

1 台の LA12X に対する可変曲率 WST エンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
Kiva	3	12
Kiva II	6	24
Kara	3	6
K2	3	3
K1	2	2
K1-SB	1	4

1 台の LA12X に対するサブウーハーエンクロージャーの最大数

スピーカーエンクロージャー	1 つの出力チャンネルあたりの最大接続数*	コントローラーあたりの最大接続数
SB15m	3	12
SB18	3	12
SB28	1	4
KS28	1	4

*パッシブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するエンクロージャー数です。アクティブスピーカーの場合、この値は出力に並列接続するセクション数です。



112XT、115XT、MTD シリーズ、ARCS、dV-DOSC、KUDO、V-DOSC、KILO、SB118、SB218、dV-SUB の最大接続は LA8 の表を参照してください。

